

函館マリカルチャープロジェクト キックオフシンポジウム

魚介藻類養殖を核とした持続可能な水産・海洋都市の構築
～地域カーボンニュートラルに貢献する水産養殖の確立に向けて～

2022年6月28日（火） 15:00～17:00
（14:30受付開始）

花びしホテル 2階「あかしや」（100名）
オンライン（zoom利用）（100名）

参加無料

オンライン（右のQRコードもしくは裏面のリンク）またはファックスで
6月26日（日）17時までにお申込みください（詳細は裏面）



15:00～ 開会挨拶

函館市 市長 工藤 壽樹

北海道大学 総長 寶金 清博

来賓挨拶 内閣府地方創生推進事務局 参事官 中野 理美 氏

15:20～ プロジェクト概要紹介

①サーモン養殖研究開発

北海道大学 大学院水産科学研究院 准教授 藤本 貴史

②コンブ養殖研究開発

北海道大学 大学院水産科学研究院 教授 水田 浩之

15:55～ 講演

サーモン養殖ビジネスの「今」と最新の養殖技術

株式会社林養魚場 代表取締役 林 総一郎 氏

函館の海に潜む2つのキング

北海道立工業技術センター センター長 安井 肇

17:00～ 閉会挨拶 事業責任者（函館国際水産・海洋都市推進機構 推進機構長） 嵯峨 直恒

函館マリカルチャープロジェクト・キックオフシンポジウム

海洋環境の変化等により函館の海に大きな異変が生じています。イカや天然コンブの不漁が続き、漁業者や水産加工業、飲食・観光業など幅広い産業へ影響を及ぼしています。このため地域では新たな養殖産業の創生を図るべく、キングサーモンとコンブの完全養殖の研究開発と、将来のまちや新産業を支える人材育成の計画を産学官が連携して策定し、国の交付金事業に採択されました。この新たな取り組みを漁業者や関連企業をはじめ、学生、市民の皆さまに広く紹介し、関心を高めていただくために本シンポジウムを開催します。

マリカルチャー (mariculture) とは、海中養殖などの意味です。 mariはラテン語で「海」を意味し、cultureは「耕されたもの」が語源で、養殖、耕作、文化などを意味します。本プロジェクトは水産・海洋に関する産業を興すことが最も重要なゴールとなり、さらに将来的には、新たな函館の水産・海洋に関する「文化」も築かれていくと期待されます。つまり、マリカルチャーには、養殖を産業化させそれらが函館の水産・海洋に関する新たな文化形成に繋がるための最初の一步にしたいとの思いを込めています。

シンポジウム申込詳細

現地参加：先着100名

オンライン参加：先着100名

参加費：無料

申込締切：6月26日（日）17：00

会場：函館市湯川町1-16-18 花びしホテル 2階 あかしや（無料駐車場あり）

オンライン (zoom)：アクセス情報は申し込み後にお知らせします

※会場内でのマスクの常時着用、入場の際の手指消毒にご協力をお願いします

オンライン申し込みについて

表面のQRコード、もしくは<https://forms.gle/id2s2XRpsDimdD3i8>からお申し込みください

ファックスでの申し込みについて

オンライン申し込みができない場合は、ファックスにてお申込みください。その際には必ずファックスフォーム（以下）に必要事項をご記入の上、このまま送信してください。

申込みされた方へ受付確認のメール送信もしくは電話連絡を24時間以内にいたします。連絡がない場合は下記お問い合わせ先にご連絡ください。

※電話でのお申込みはお受けできませんのでご了承ください。提供いただいた個人情報は厳重に管理し、今後のシンポジウム等のご案内以外には使用しません。

お問い合わせ：函館国際水産・海洋都市推進機構 調査・研究部門 三瓶・阿部

E-mail: project@marine-hakodate.jp TEL:0138-21-4700 FAX:0138-21-4601

「函館マリカルチャープロジェクト・キックオフシンポジウム」参加申込書

(一財) 函館国際水産・海洋都市推進機構 行 FAX 0 1 3 8 - 2 1 - 4 6 0 1

企業・団体名

所在地

TEL

FAX

ふりがな 氏名	e-mail	参加形式	
		会場	オンライン